



南東ブロック 阿倍野住吉支部(通称：ちんでん支部)  
株式会社 マルタカ 山田 有倫

## 文の里商店街最盛期から現在

### <ちん電と共に発展した商店街>

大阪市南部、あべのハルカスから程近い所にある文の里商店街をご紹介したいと思います。大阪市阿倍野区昭和町という地域にあり地下鉄御堂筋線昭和町駅より徒歩3分という立地に南北にアーケードが伸びており地下鉄谷町線文の里駅からも近いのでアクセスは抜群に良い商店街です。

1951年(昭和26年)に文の里商店街は誕生致しました。昭和55年まで谷町線の上に南海平野線(ちんちん電車)が走っていました、商店街の入口に文ノ里駅があり昭和町駅から文ノ里駅に乗り換える乗降客で商店街が活性化されていました。また近隣には市場もそう無く近隣住民の台所として発展しました。

店舗数も約100店舗あり、人で商店街内を覆い尽くしていました。

南海平野線が廃止になり地下鉄谷町線が開通すると、乗降客は居なくなりました。

勢いはまだありましたが、時代は平成になり失われた20年と呼ばれる不景気時代に突入します。近隣にスーパーが出来ていき、また店舗も店主高齢や不景気で少しずつ店舗が減少していき、現在約50店舗程になりました。



まったり文の里商店街



生活とふれあい文の里

## 現在の文の里商店街は・・・

### <アートで活性化した商店街>

2012年(平成24年)ある事がきっかけで全国や世界中から注目を浴びることになります。

それは商店街ポスター展です。若手クリエイター達が各店舗にポスターを作製するというもの。そのポスターが奇抜過ぎるとネットで広がり全国や台湾・欧米からも人が来るようになりました。連日マスコミに取り上げられ。瞬く間に文の里商店街の認知度は広がりました。

しかし、ポスター展も一息つくとお客様も減っていき、廃業する店舗もあり商店街の存続が危ぶまれるという危機感が出てきました。

現在は地域と共に開かれた商店街も目指していくと共に、新しく地域に住まれた方にも商店街を通じて、地域の良さをアピールしていかなければなりません。新しいイベントを次々と行い、飽きない商店街を目指していきます。時代は変わっても商店街自体は変わりません。中身は変化していきますが・・・

因みにキャッチフレーズは「まったり文の里商店街」です。



ポスターアート



ちん電の勇姿